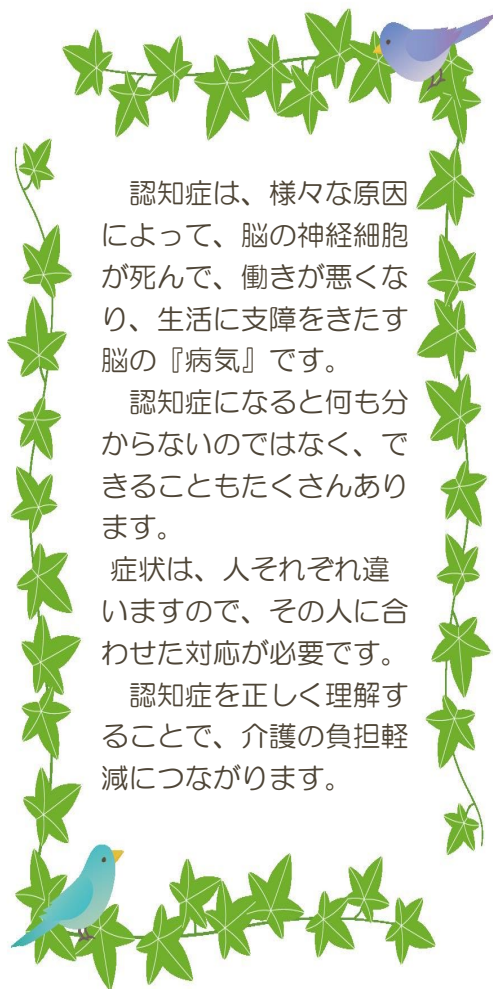


認知症ってどんな病気？



認知症は、様々な原因によって、脳の神経細胞が死んで、働きが悪くなり、生活に支障をきたす脳の『病気』です。

認知症になると何も分からないのではなく、できることもたくさんあります。

症状は、人それぞれ違いますので、その人に合わせた対応が必要です。

認知症を正しく理解することで、介護の負担軽減につながります。

ぜひこのパンフレットを参考に見て下さい



もの忘れ看護相談外来 開設のお知らせ

当院では、日頃の暮らしの中で認知症や認知機能低下によって、生活のしづらさがある方やその家族の問題を一緒に考え、解決のお手伝いをするため、もの忘れ看護相談外来を開設しました。

担当者

第1・3木曜日 13:00~16:00	坂本真一郎認知症 看護認定看護師
第2・4木曜日 13:00~16:00	北原こゆき認知症 看護認定看護師

☆気軽にご相談ください



独立行政法人
国立病院機構菊池病院
住所：〒861-1116
熊本県合志市福原 208

☎096-248-2111

とりつくろい

～原因と対応について～



「とりつくろい」ってなに？

「とりつくろい」とは、忘れたことをごまかそうとして、作り話をする状態のことを言います

例えばこんな言い方

日付を尋ねたら

「年をとったら日付くらい忘れるよ」と、苦笑いしてごまかす

時間を尋ねたら

「大事なことは忘れないけどね」と、忘れていたことを隠す

年を尋ねたら

「昭和〇年生まれだから」とその場を切抜けようとする

アルツハイマー型認知症の特徴的な症状の1つ

「とりつくろい」をする時はどんな気持ち？

どうすればいいかわからない

認知症の初期の段階でもの忘れが頻繁に起こり、どうすればよいか分からず、一人で困っています。体がふわふわして落ち着かない感じで過ごしています。

今まで出来ていたことが、出来なくなって、自分でもおかしいと思いつつ、自分の体に何がおきているのか言えず不安になり孤独を感じています。失敗の連続で、やる気がなくなっています。



どのように関わればいいの？

笑顔で接する

ことが大切です

忘れたことをとがめない。強い不安感があるので、「大丈夫ですよ」と笑顔で話しかけ安心してもらおう。

本人は笑っていますが、強い不安感を感じて毎日過ごしています。



独立行政法人国立病院機構 菊池病院

出典：熊谷頼佳

タイプ別対応でよくわかる認知症ケア